

令和4年2月18日

令和3年度 教育会助成事業報告書

宇部市立常盤中学校
校長 松岡 千鶴

1 助成事業の内容

「美しい花で来校者を出迎える～うるおいのある学校づくり～」

2 活動の概要

令和2年度教育会助成事業により、宇部市立常盤中学校では美しい学校環境が整備できている。特に、登校坂への紫陽花の苗の移植により、通称「常中あじさい通り」の整備や、中庭の藤棚と芝桜の花の共演など、成果として現れている。

そこで今年度も、昨年度に引き続き、花壇の整備や玄関や生徒昇降口、体育館周辺へのプランター設置等により、季節ごとの花で来校者の心を潤す取組、「美しい花で来校者を出迎える～うるおいのある学校づくり～」に取り組むとともに、地域と連携した清掃ボランティア活動を推進することとした。以下は、今年度取り組んだ活動の概要を報告する。



(1) 年2回の花壇の整備

本市では、年2回の花の苗の配付があり、それに合わせて学級や部活動ごとに花壇を割り当て、各担当で草取りや水やり等の管理している。また、夏季休業中は全校生徒が当番を決めて水やりにかかわる等、献身的な取り組みが見られた。



また、第2回目の花壇整備の際には、PTAも一緒になって活動を行った。

今後、コロナ感染症が収束すれば、この取り組みを地域とともに推進したいと考えている。



(2) 生徒昇降口や玄関、体育館周辺のプランター設置

季節の花を生徒や来校者に楽しんでもらおうと、年2回プランターに季節の花を植え、生徒昇降口や玄関、体育館周辺に設置した。水の管理は掃除区域の生徒が主にやっており、



体育館につながる通路沿いは華やかな雰囲気になっている。夏はベゴニアやメランポジューム、春はパンジーやビオラ等の色鮮やかな花が、コンクリートの無機質さに温かみを加えてくれている。



(3) その他

昨年からの継続で、通称「常盤中アジサイ通り」や中庭の藤棚の整備も引き続き実施した。また、校内ボランティア清掃を行うとともに、今年度は地域の様々な場所で活動を行うことで、生徒の地域の環境整備に対する意識の高揚が見られた。



校内ボランティア清掃(毎週)



校内ボランティア清掃(PTAと共に)



校外ボランティア清掃(長期休業中)



校外ボランティア清掃(100名参加)

3 考察

コロナ禍の影響で、昨年と同様に多くの行事が中止または縮小となり、生徒はストレスを多く感じながらの学校生活を送っている。そのような中、今年度も県や市から花の寄贈等があるなど、地域を挙げて生徒を支えていただいている。また、学校としても、美しい環境の中で、うるおいのある学校生活を送ってほしいと願っており、今年度も引き続き「教育会助成事業」に応募し、その助成金で花づくりにかかる土等の購入をさせていただいた。その成果として、年間を通じて季節の花々に囲まれた学校生活を送ることができ、生徒の心の栄養剤の一つになったと考える。また、生徒は、校内だけでなく地域の環境整備に対しても意識を持ち始め、コロナ禍ではあるが、地域と連携し、様々な清掃活動に取り組むことができた。今後とも、美しいものを素直に美しいと感じる感性や心を込めてお世話をする温かさをもった生徒に成長してくれることを願っている。